

# 2021年度（2022年3月期） 第3四半期決算説明資料

2022年1月26日  
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2022 FDK CORPORATION

2021年度第3四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2021年度第3四半期の業績	
2021年度第3四半期連結決算概要	3
営業利益変動要因（前年同期比）	4
連結貸借対照表	5
セグメント別情報	6
2. 2021年度（通期）見通し	8

今回ご説明させていただき内容です。

## 2021年度第3四半期連結決算概要

**FDK**

(単位：億円)

	2020年度 3Q	2021年度 3Q	前年同期比	
				増減率
売上高	453.5	456.2	+2.6	+0.6%
営業利益 (営業利益率)	13.7 (3.0%)	19.6 (4.3%)	+5.9 (+1.3pt)	+43.2%
経常利益 (経常利益率)	8.9 (2.0%)	18.3 (4.0%)	+9.3 (+2.0pt)	+104.6%
四半期純利益※ (純利益率)	16.5 (3.7%)	19.0 (4.2%)	+2.5 (+0.5pt)	+15.2%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	47.97円	55.27円	+7.3円
為替レート (円/1USD)	106.14円	111.00円	+4.86円
(円/1EUR)	121.78円	130.92円	+9.14円
ROIC※	4.7%	6.2%	+1.5pt

※ROIC = 税引後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)

© 2022 FDK CORPORATION

はじめに、連結決算概要です。

■売上高は、電池事業のアルカリ乾電池で前年度に実施した海外製造子会社の株式譲渡による減少や電子事業のスイッチング電源やトナー、液晶ディスプレイ用途向け各種モジュールが減少しましたが、電池事業のニッケル水素電池とリチウム電池、設備関連ビジネス、電子事業のモビリティ用途向け各種モジュールが増加したことにより、前年同期に比べ2.6億円増加の456.2億円となりました。

■営業利益はニッケル水素電池、リチウム電池、設備関連ビジネスおよび各種モジュールの売上増により、前年同期に比べ5.9億円増加の19.6億円となりました。

■経常利益は前年同期に比べ9.3億円増加の18.3億円。

■四半期純利益は関係会社清算益4.5億円、関係会社株式売却益0.1億円の特別利益を計上したことにより、前年同期に比べ2.5億円増加の19.0億円となりました。

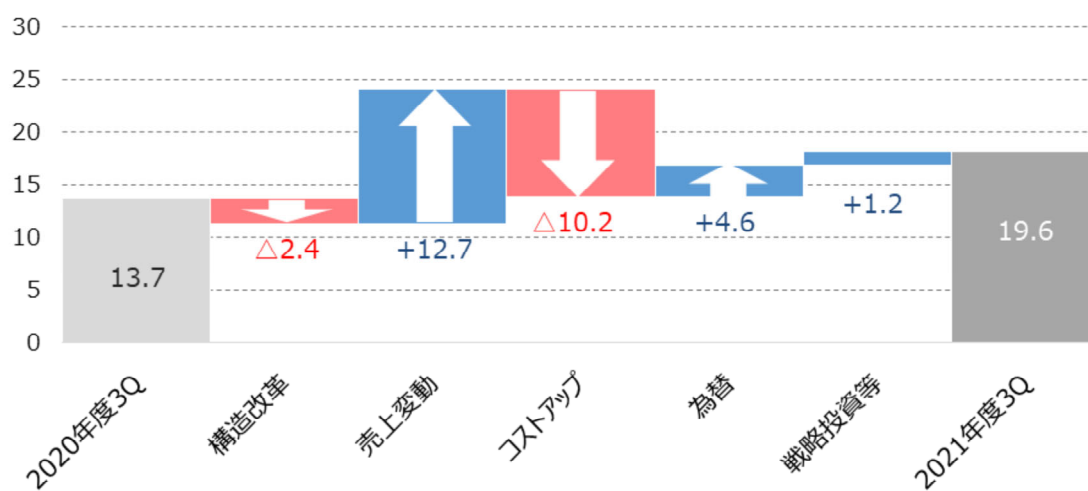
■ROICは前年同期に比べ1.5pt増加の6.2%となりました。

## 営業利益変動要因（前年同期比）

FDK

（単位：億円）

	2020年度 3Q	2021年度 3Q	前年同期比	
				増減率
営業利益 (営業利益率)	13.7 (3.0%)	19.6 (4.3%)	+5.9 (+1.3pt)	+43.2%



© 2022 FDK CORPORATION

次に、営業利益の変動要因です。

■ 構造改革として前年度に海外製造子会社の株式譲渡を実施したことにより2.4億円減益となる一方、増収等の影響により12.7億円増益となりました。

経費・材料のコストアップで10.2億円減益がありましたが、為替影響の好転4.6億円が加わり、前年同期に比べ5.9億円増益の19.6億円となりました。

## 連結貸借対照表

**FDK**

(単位：億円)

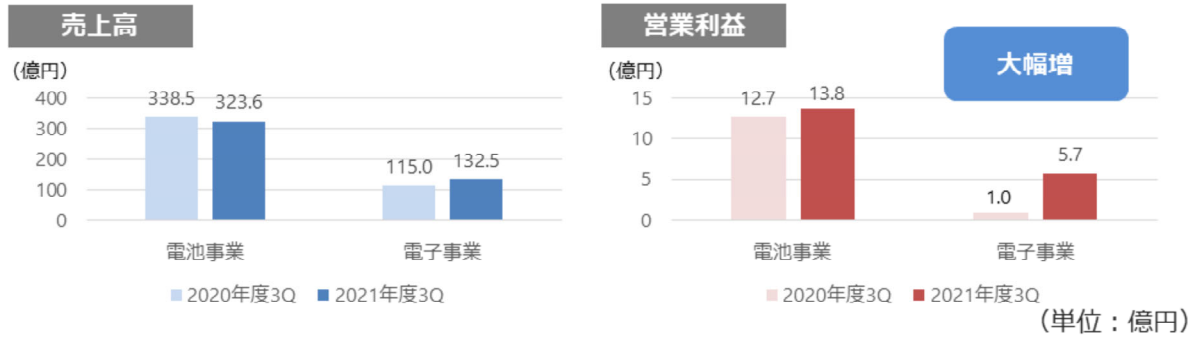
科目	2020年度	2021年度 3Q	増減	科目	2020年度	2021年度 3Q	増減
流動資産	323.4	311.2	△12.1	流動負債	337.7	307.1	△30.6
				(短期借入金)	149.0	121.9	△27.1
固定資産	157.1	157.0	△0.1	固定負債	33.9	29.6	△4.3
				負債合計	371.7	336.8	△34.9
				株主資本	117.5	136.1	+18.6
				その他の包括利益 累計額	△8.6	△4.7	+3.9
				純資産合計	108.8	131.4	+22.6
資産合計	480.6	468.2	△12.3	負債純資産合計	480.6	468.2	△12.3
自己資本比率	22.6%	28.1%	+5.5pt	有利子負債残高	151.1	123.5	△27.6

© 2022 FDK CORPORATION

次に、連結貸借対照表です。

- 総資産は、前年度に比べ12.3億円減少の468.2億円となりました。
- 流動資産は前年度に比べ12.1億円減少の311.2億円、固定資産は前年度に比べ0.1億円減少の157.0億円となりました。流動資産減少の主な要因は商品及び製品、原材料及び貯蔵品などが増加しましたが、現金及び預金が39.0億円減少したことによるものです。
- 負債合計は前年度に比べ34.9億円減少の336.8億円となりました。
- 流動負債は前年度に比べ30.6億円減少の307.1億円、固定負債は前年度に比べ4.3億円減少の29.6億円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務などが増加しましたが、短期借入金が27.1億円、未払金が13.2億円それぞれ減少したことによるものです。
- 純資産合計は前年度に比べ22.6億円増加の131.4億円となりました。  
純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が19.0億円増加したことによるものです。
- 有利子負債残高は、前年度に比べ27.6億円減少の123.5億円となりました。

# セグメント別情報



		2020年度 3Q	2021年度 3Q	前年同期比	
				増減額	増減率
電池事業	売上高	338.5	323.6	△14.8	△4.4%
	セグメント利益 (率)	12.7 (3.8%)	13.8 (4.3%)	+1.1 (+0.5pt)	+9.1%
電子事業	売上高	115.0	132.5	+17.5	+15.3%
	セグメント利益 (率)	1.0 (0.9%)	5.7 (4.4%)	+4.7 (+3.5pt)	+470.0%
合計	売上高	453.5	456.2	+2.6	+0.6%
	営業利益 (率)	13.7 (3.0%)	19.6 (4.3%)	+5.9 (+1.3pt)	+43.2%

© 2022 FDK CORPORATION

次に、セグメント別の情報です。

- 電池事業の売上高は、前年同期に比べ14.8億円減少の323.6億円、セグメント利益は前年同期に1.1億円増加の13.8億円となりました。
- 電子事業の売上高は、前年同期に比べ17.5億円増加の132.5億円、セグメント利益は前年同期に比べ4.7億円と大幅に増加し5.7億円となりました。

## セグメント別情報（売上概況）

**FDK**

（単位：億円）

		2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比	
				増減額	増減率
電池事業	売上高	338.5	323.6	△14.8	△4.4%
	セグメント利益 （率）	12.7 (3.8%)	13.8 (4.3%)	+1.1 (+0.5pt)	+9.1%
	■ニッケル水素電池	【増収】 海外の市販用途および工業用途向けが堅調			
	■アルカリ乾電池	【減収】 前年度に実施した海外製造子会社株式譲渡により減少			
	■リチウム電池	【増収】 国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが堅調			
電子事業	売上高	115.0	132.5	+17.5	+15.3%
	セグメント利益 （率）	1.0 (0.9%)	5.7 (4.4%)	+4.7 (+3.5pt)	+470.0%
	■スイッチング電源	【減収】 半導体装置用途向けが部品の調達難による納期延伸などにより減少			
	■トナー	【減収】 在庫調整やテレワーク推奨による印刷減少などにより減少			
	■各種モジュール	【増収】 ・液晶ディスプレイ用途向けが減少 ・モビリティ用途向けが増加			

© 2022 FDK CORPORATION

次に、セグメント別の売上概況です。

■ニッケル水素電池は、海外の市販用途および工業用途向けが堅調に推移したことにより、前年同期を上回りました。

■アルカリ乾電池は、前年度に実施した海外製造子会社株式譲渡による売上減により、前年同期を下回りました。

■リチウム電池は、国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが堅調に推移したことにより、前年同期を上回りました。

この結果、電池事業全体の売上高は、前年同期に比べ14.8億円減少の323.6億円、セグメント利益は13.8億円となりました。

■続いて、電子事業は、スイッチング電源とトナーが減少したものの、モビリティ用途向け各種モジュールが増加したことにより、前年同期を上回りました。

■スイッチング電源は、半導体装置用途向けの需要が堅調なものの、部品調達難による納期延伸などにより、前年同期を下回りました。

■トナーは在庫調整やテレワーク推奨による印刷減少などにより、前年同期を下回りました。

■各種モジュールは液晶ディスプレイ用途向けで減少しましたが、モビリティ用途向けで増加したことにより、前年同期を上回りました。

この結果、電子事業全体の売上高は、前年同期に比べ17.5億円増加の132.5億円、セグメント利益は5.7億円となりました。

## 2021年度（通期）見通し

**FDK**

（単位：億円）

	2020年度 （実績）	2021年度 （予想）	前年度比	
				増減率
売上高	615.4	600.0	△15.4	△2.5%
営業利益 （営業利益率）	17.4 (2.8%)	19.0 (3.2%)	+1.5 (+0.4pt)	+9.0%
経常利益 （経常利益率）	12.7 (2.1%)	15.0 (2.5%)	+2.2 (+0.4pt)	+17.7%
当期純利益※ （当期純利益率）	20.0 (3.3%)	16.0 (2.7%)	△4.0 (△0.6pt)	△20.4%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	58.24円	46.37円	△11.87円
------------	--------	--------	---------

為替レート	（円/1USD）	105.79円	105.00円	△0.79円
	（円/1EUR）	123.22円	125.00円	+1.78円

© 2022 FDK CORPORATION

次に、2021年度の見通しです。

■ 通期連結業績予想は、2021年4月27日発表の公表値を据え置いております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、期初想定よりも堅調に推移しております。

第4四半期連結会計期間も堅調に推移するものと見込んでおりますが、部品調達難や原材料価格の高騰、物流混乱影響は当面続く見通しであり、オミクロン株の出現が経済活動に及ぼす影響も不透明な状況です。このような状況が当社グループの今後の業績に及ぼす影響を精査中であることから、現時点において通期連結業績予想の修正は行わない判断といたしました。

■ 売上高は、600億円で15.4億円の減収。

■ 営業利益は、19億円、純利益は16億円の見通しです。

■ 為替レートは、1USD、105円、1ユーロ、125円を想定しております。



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または有価証券報告書を参照していただきますようお願いいたします。

**FDK**

確かな技術 育てる未来